

章		論点(案)		
まえがき	本ガイドンスの位置づけと全体構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ガイドンスの目的・対象・要件や活用方法について、違和感がないか。</li> <li>② 環境省のTCFDシナリオ分析実践ガイドやTCFDコンソーシアムのTCFDガイドンスと、本ガイドンスの関係性の記載について、違和感がないか。他に特に取り上げて解説すべき資料はないか。</li> </ul>		
第1編 はじめに	第1章 なぜ気候変動に対応することが大切なのか	③ 不動産分野の気候変動対応の重要性を示すうえで、追記すべき要素はあるか。		
	第2章 なぜ不動産分野でも気候変動が重要なのか			
	第3章 気候変動を巡る海外・国内の動向			
第2編 TCFD提言 について	第4章 TCFD提言とは何か	④ 不動産分野におけるTCFD対応の重要性を示すうえで、追記・修正すべき内容はあるか。		
	第5章 TCFD提言への対応とは			
	第6章 TCFD提言に基づいた開示事例	⑤ TCFD提言の4つの開示項目(ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標)の開示のポイントとして、特に不動産業界特有の観点から追記・修正すべき内容はあるか。		
		⑥ TCFD提言の4つの開示項目(ガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標)の開示のポイントの示し方について、より多くの企業が活用しやすくするために改良すべき点はあるか。		
第7章 TCFD提言を踏まえた情報開示の進め方		⑦ TCFD対応のポイントについて、記載内容に違和感がないか。【7.1 TCFD対応のポイント】		
		⑧ シナリオ分析の実施方法の説明について、より多くの企業が活用しやすくするために改良すべき点はあるか。【7.2 シナリオ分析の実施方法～不動産業界に特化した推奨検討アプローチとは～】		
		⑨ シナリオ分析の各ステップにおける開示サンプルの示し方について、違和感がないか。【7.2.4 ②重要リスク・機会の特定 ～ 7.2.7 ⑤対応策定義】		
		⑩ 不動産業界における代表的なリスク・機会に関する抜け漏れがないか。【7.2.4 ②重要リスク・機会の特定】		
		⑪ 各将来シナリオの世界観において、強調または追加した方が良い要素があるか。【7.2.5 ③シナリオ群定義】		
		⑫ 事業インパクト評価の実施方法について、各不動産企業が自社における評価に活用する観点から、追記・修正すべき内容はあるか。【7.2.6 ④事業インパクト評価】		
		⑬ 不動産業界における気候変動リスク・機会の代表例として、追記・修正すべき内容はあるか。【7.2.7 ⑤対応策定義】		
		⑭ 日本の不動産分野に特有の情報開示のポイントとして、どのようなものが考えられるか。開示する際に意識している点はあるか。【7.4 日本の不動産特有の情報開示のポイント】		
		⑮ 今後のシナリオ分析発展のポイントとして、どのようなものが考えられるか。【7.5 更なるシナリオ分析発展のポイント】		
		各章 参考資料	第8章 不動産分野のTCFD開示において参考となるデータ・シナリオ集の紹介	⑯ 不動産分野のTCFD開示において参考となるデータ・シナリオとして、他に追加すべきものはあるか。
			第9章 不動産分野のTCFD開示において参考となる文献の紹介	⑰ 不動産分野のTCFD開示において参考となる文献として、他に追加すべきものはあるか。
			第10章 認証制度	⑱ 不動産分野における環境性能関連の認証制度として、他に追加すべきものはあるか。
		全体	-	⑲ ガイドンス全般として、より多くの企業が活用しやすくするために改良すべき点はあるか。 (例:画像イメージについては中身の文字数を削ってフォントを大きくする等)